

# 平成22年度香取市小中学校「標準学力調査」結果概要

香取市教育委員会

## 1 調査目的

各小中学校が、一人一人の子ども達に「確かな学力」を身に付けさせるために、学習指導上の課題を明確にして、今後の指導の工夫改善に活用する。

## 2 調査内容

### (1) 調査対象

小学校5年生・中学校2年生

### (2) 実施教科

小学校…国語・社会・算数・理科及び意識調査

中学校…国語・社会・数学・理科・英語及び意識調査

### (3) 調査実施日

平成23年2月4日（金）

## 3 調査方法

### (1) ペーパーテスト調査

学習指導要領に示された内容のうち、ペーパーテストによることが適切と考えられる内容

### (2) 意識調査

学習にかかわりのある意識や生活の状況

## 4 調査結果、分析及び改善策

小学校 第5学年

[調査結果]

平均正答率（％）

教科	全国平均	香取市平均
国語	72.0	72.8
社会	71.8	73.1
算数	74.1	73.4
理科	79.8	80.3

[全体的な傾向]

全国平均と比べると算数がわずかに下回ったが、全体としては、学習の実現状況はおおむね良好である。

**[国語科における主な課題（○）及び改善策例（・）]**

**【話し合いの内容を聞き取る】**

○話し合いの場面で、自分の立場や意図をはっきりさせながら話し合うことに課題が見られた。

- ・話し合いの進行係として、出された意見をまとめた上で、それに対する意見を募る場合、話の内容だけでなく、情報の種類（事実、意見、経験、提案、考察など）も明確にすることが大切である。児童の発言を教師が整理したり、他の児童に説明させたりすることにより、話し手の発言内容を分類しながら聞く態度を養うことが大切である。このことが、相手の意図を正確につかむことにつながる。

**【漢字の読み書き】**

○漢字の読み書きでは、問題によって正答率のバラつきが大きい。

- ・漢字の読み書きの出来は使用頻度に左右されるため、年間を通して意識して指導する必要がある。間違いやすい漢字は、音読を通して児童に読み方を確認させたり、小テストなどを通して繰り返し漢字を書かせたりすることで定着を図りたい。

**【説明文の内容を読み取る】**

○説明文の読み取りでは、文章の内容を的確に押さえながら読むことに課題が見られた。

- ・文章の内容を的確に押さえるためには、各段落に書かれている内容を把握し、文章全体の構成と段落ごとのつながりを理解することが必要である。内容を理解できているかを確認するためには、文章を図にまとめ、空欄にあてはまる語句を埋めさせるなどの指導が有効である。

**[社会科における主な課題（○）及び改善策例（・）]**

**【日本の農業】**

○米づくりで使う肥料についての理解に課題が見られた。

- ・たい肥は、日本で古くから使われてきた肥料である。米作りの工夫については、農薬や化学肥料の使用の仕方、土地改良、品種改良などに加えて、これからの米作りの方向として、環境を考えながら進めていく必要があることなどを児童に理解させる必要がある。

**【日本の水産業】**

○地図上の海流の位置と名称を理解し、漁港の生産額が多い理由について考えることに課題が見られた。

- ・日本の周辺にあるそれぞれの海流名とその特徴や流れ方を、白地図などを利用して指導する必要がある。また、それをもとに、日本の近海には潮目や大陸棚があることによって良い漁場が多くあることを理解させたい。用語や意味を覚えさせるだけでなく、それらに関連づけて指導していくことが大切である。

**【日本の食料生産】**

○日本が食料を輸入に頼っていることによる問題点や、調べようとする課題に対して必要な資料を考え、選択することについて課題が見られた。

- ・意見の根拠となる資料を選択するには、意見の柱となる事柄をきちんと押さえる必要がある。また、品目ごとの自給率のグラフを見ながら、そこから何が読み取れるのかについて

て話し合いを行うことが望まれる。

[算数科における主な課題 (○) 及び改善策例 (・)]

【小数と整数のしくみ】

○小数のしくみや小数を用いた単位換算に課題が見られた。

- ・小数のしくみにおいては、水のかさで学習した 0.1, 0.01 という値の意味をもう一度確認し、小数の十進構造や位取りの原理を確実に定着させることが必要である。小数の位取りの原理は、小数の乗除計算の基礎となるので、特に意識して指導したい。
- ・単位換算においては、身長など児童が身近に感じる数値を利用し、cm と m の単位換算を理解させる必要がある。

【図形の角】

○三角形の内角の和を使って、2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求めることに課題が見られた。

- ・誤答は、与えられていない1つの角の大きさを答えてしまうものが多く見られた。角度を求める際には、求めた角度がどの角度なのか、図形にかき込んで確かめる習慣をつけることが重要である。角度の指導の際には、三角形の内角と外角の性質を理解した上で考えさせる指導を心がけたい。

【小数のかけ算・わり算】

○わり算の問題場面を見て、答えが整数になることを読み取ることに課題が見られた。

- ・小数のわり算においては、わり進む場合とあまりを出す場合がある。計算技能に習熟させるだけでなく、問題の意図を正しくとらえ、どんな時にどんな解答をすればよいのかを考えさせることが必要である。また、あまりをどのように処理すればよいのかを丁寧に指導する必要がある。

[理科における主な課題 (○) 及び改善策例 (・)]

【流れる水のはたらき】

○水の量が多いときの、流れる水のはたらきについて課題が見られた。

- ・水の「けずる・運ぶ・積もらせる」の3つの作用のうち、斜面で水が地面をけずるというはたらきについてきちんと理解させる必要がある。流れる水の地面に対するはたらきを理解させるには、映像教材を利用して雨水が流れるようすや川のようなすを見せたり、実際に水を流す実験をさせたりすると、浸食と堆積の理解が明確になる。

【けんび鏡の使いかた】

○顕微鏡を正しく操作すること（ピントの合わせ方）に課題が見られた。

- ・顕微鏡の使い方については、事前にと扱の注意と操作方法をしっかりと指導しておく必要がある。特に、直射日光の当たる場所で顕微鏡を操作すると、目を痛める危険性があるので十分に注意させたい。また、何種類かの花粉を観察させる活動などを通して、児童全員が顕微鏡の操作に慣れ、確実に正しく観察できるようにさせることも大切である。

【台風と天気の変化】

○台風がもたらす恵みを指摘することに課題が見られた。

- ・日頃のニュースなどでは、台風による洪水の被害など、台風がもたらすマイナスの側面

に目を向けがちであるが、台風には、我々に必要な水を供給するという大切な役割がある。台風に限らず、日頃から天気もつさまざまな側面に目を向けさせたい。例えば、晴天が続くと水不足になることなど、天気もつ功罪両面に着目させる必要がある。

**中学校 第2学年**

**[調査結果]**

平均正答率 (%)

教科	全国平均	香取市平均
国語	69.5	70.2
社会	65.6	70.7
数学	61.8	67.5
理科	63.0	66.8
英語	55.3	61.0

**[全体的な傾向]**

どの教科とも全国平均を上回っており、全体的に学習の実現状況は良好である。

**[国語科における主な課題 (○) 及び改善策例 (・)]**

**【漢字の読み書き】**

○漢字の読み書きでは、漢字を書くことに課題が見られた。

- ・漢字の読み書きは、問題によって正答率のバラつきが大きい。間違いやすい漢字は、意識して取り上げることが大切である。漢字を書く力をつけるためには、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことが重要である。

**【文法・語句に関する知識】**

○故事成語を具体的な状況と結びつけて理解することに課題が見られた。

- ・故事成語は、1年生で指導してそこで終わってしまうことが多いため、知識が定着しにくい状況にある。故事成語を身近なものとするため、教室に掲示したり定期的に短文作りを行ったりするなど、故事成語についての知識を増やすための工夫をし、実際に文章の中で活用できるように指導していくことが大切である。

**【説明文の内容の読み取り】**

○説明文の読み取りでは、正答率の低い問題が多く、特に、筆者の論理の展開の仕方を的確に理解することや、文章の要旨をとらえることに課題が見られた。

- ・文章の要旨については、文章の一部を読んで判断するのではなく、文章全体を押さえてとらえる必要がある。筆者がどのように論を展開しているのかを丁寧に読み取らせ、キーワードをもとに要旨をまとめさせる指導を行うことが必要である。
- ・読み取った情報を整理し関連づける力が、さまざまな場面で求められるようになってき

ている。授業の中で、一定の条件をもとに情報を整理する学習を行うなど、正しく情報を読み取りまとめる活動を取り入れていくとよい。

#### [社会科における主な課題 (○) 及び改善策例 (・)]

##### 【江戸時代】

○幕府の政治改革の目的について考えることに課題が見られた。

- ・江戸中期以降の改革としては、享保の改革、田沼の政治、寛政の改革、天保の改革が挙げられる。それぞれの政策は多岐にわたり、4つの改革の内容が混同しやすいため、改革の主な目的がつかみにくくなる。財政の立て直しは、歳出削減と歳入増加の2つの政策がとられるため、4つの改革の内容をこの2つの視点からまとめる活動を行うことにより、4つの改革の目的を明確に理解させたい。

##### 【日清・日露戦争】

○日清戦争前後の東アジアの国々の動きについての理解に課題が見られた。

- ・19世紀後半の国際情勢と日本の動きを関連づけながら、日清・日露戦争の起こった理由、その結果どうなったかなどをまとめさせることが必要である。また、戦争の影響について風刺画などを用いて、さまざまな角度から考えさせる指導も有効である。日清戦争から韓国併合までの日本の動きを、政治・産業・社会の面からまとめて年表を作成させるなどして、理解を深めていくことが大切である。

#### [数学科における主な課題 (○) 及び改善策例 (・)]

##### 【合同な図形の証明】

○合同な図形の証明において、証明の間違いを指摘し、その理由を明らかにすることに課題が見られた。

- ・誤答は、証明の過程で誤って結論を使ってしまったものと、正しい合同条件かどうか判断できなかったものが多く見られた。仮定・結論・証明の位置づけを確認し、根拠を明確にしていくことが大切である。また、三角形の合同条件は、知識として再度押さえておくのはもちろんのこと、何のために三角形の合同条件を学ぶのか、その目的や活用の仕方を再認識させる指導を行うことが大切である。

##### 【1次関数の利用】

○1次関数の利用では、1次関数のグラフの特徴を理解することや、グラフを読み取り、問題を解決することに課題が見られた。

- ・誤答は、問題のグラフが比例していると判断してしまったものである。グラフの特徴を理解するには、グラフの傾きや切片、グラフ上の点の意味などについて考えさせることが大切である。日頃から、グラフから変化のようすを読み取る活動を取り入れ、問題解決に活用できるように指導する必要がある。

#### [理科における主な課題 (○) 及び改善策例 (・)]

##### 【電流と電圧】

○家庭の電気配線のつなぎ方とその理由を説明することに課題が見られた。

- ・家庭での電気配線は、どの電気器具にも同じ電圧がかかるようにするため、並列つなぎになっていることを、豆電球を直列につないで増やした場合と、並列につないで増やした

場合の長所と短所を調べる活動を通して理解させる必要がある。その際、直列回路では、豆電球を増やしていくと電流値が下がって暗くなることや、スイッチを切るとすべて消灯するため、家庭用の配線に向いていないことを指導しておきたい。

#### 【ヒトの消化器官】

○デンプンを糖に分解する消化酵素が出される器官を指摘することに課題が見られた。

- ・生徒は、消化＝胃と考えがちで、だ液が消化しているという感覚をつかみにくい。授業の中でだ液による消化実験を行い、だ液に消化のはたらきがあることを理解させたい。
- ・人体の模型などを使って、各器官の位置や形を確認するとともに、それぞれの器官のはたらきを一覧にしてまとめさせるとよい。また、食べ物がどの器官でどのように消化されていくのかを、図などを使って理解させることも大切である。

#### 【動物のなかま】

○軟体動物を指摘することに課題が見られた。

- ・半数以上の生徒がクラゲを軟体動物と考えてしまっている。分類がわかりにくい動物に関しては、授業の中で意識して取り上げておくとうい。動物のからだのつくりとはたらきの特徴をもとに、分類の観点をわかりやすくまとめて記録整理させることが必要である。

#### 【英語科における主な課題（○）及び改善策例（・）】

##### 【リスニング】

○英文の聞き取りでは、Will you～？の相手に依頼する表現を聞き取ることに課題が見られた。

- ・Will you～？が依頼の表現であることは理解できているものの、自分から申し出ると勘違いしたものや、動詞の read が聞き取れなかった誤答が多く見られた。こうした依頼表現は、さらに定着の度を上げていく必要がある。そのためには、日頃のコミュニケーション活動の中で繰り返し使わせることが大切である。

##### 【単語の並べかえによる英作文】

○単語の並べかえによる英作文は、すべての問題において課題が見られた。特に、Shall I～？の語順については、丁寧に復習しておきたい。

- ・いずれの問題についても、語順に慣れていないことが誤答の原因だと考えられる。助動詞については、shall の他に can, may, should, will のそれぞれの意味を押さえ、一覧に整理しておくことが望まれる。その際、主語が変わると意味が変わるものがあるので、注意して指導することが必要である。文型については、教科書のキーセンテンスを繰り返し書かせるなどして、習熟を図る必要がある。

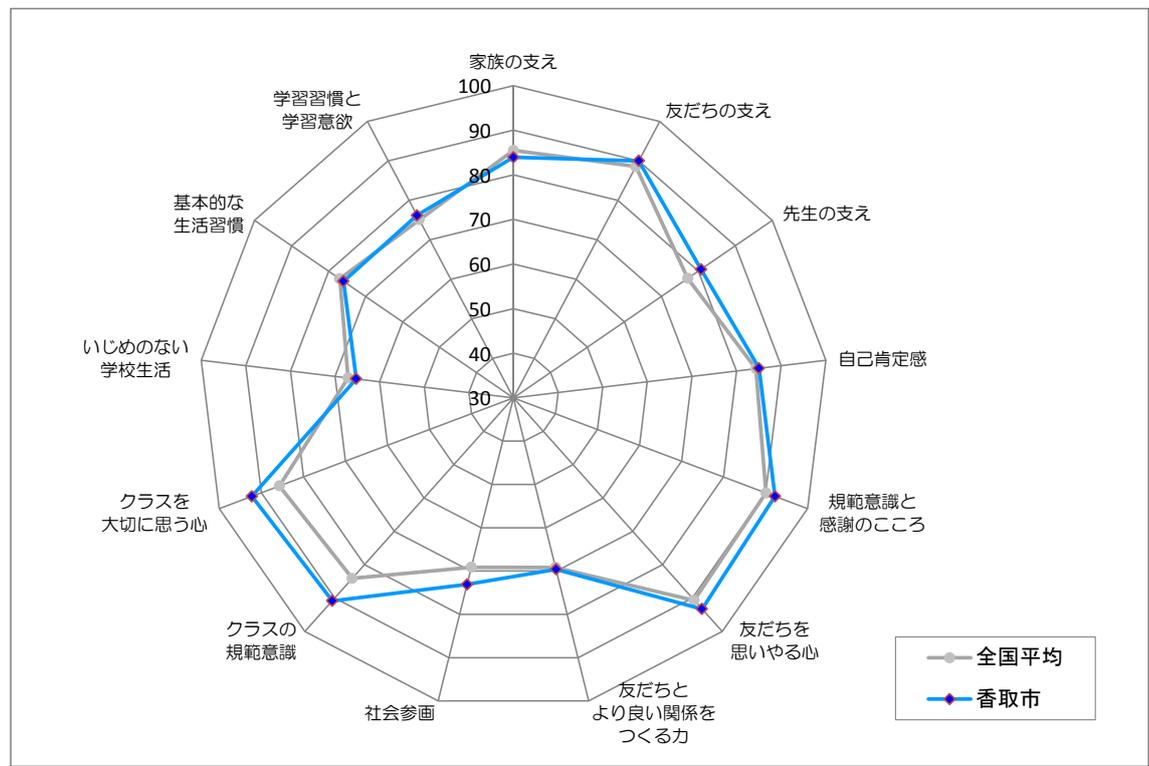
##### 【条件英作文】

○条件英作文は、正答率が低く、特に相手の希望をたずねる文を書くことに課題が見られた。

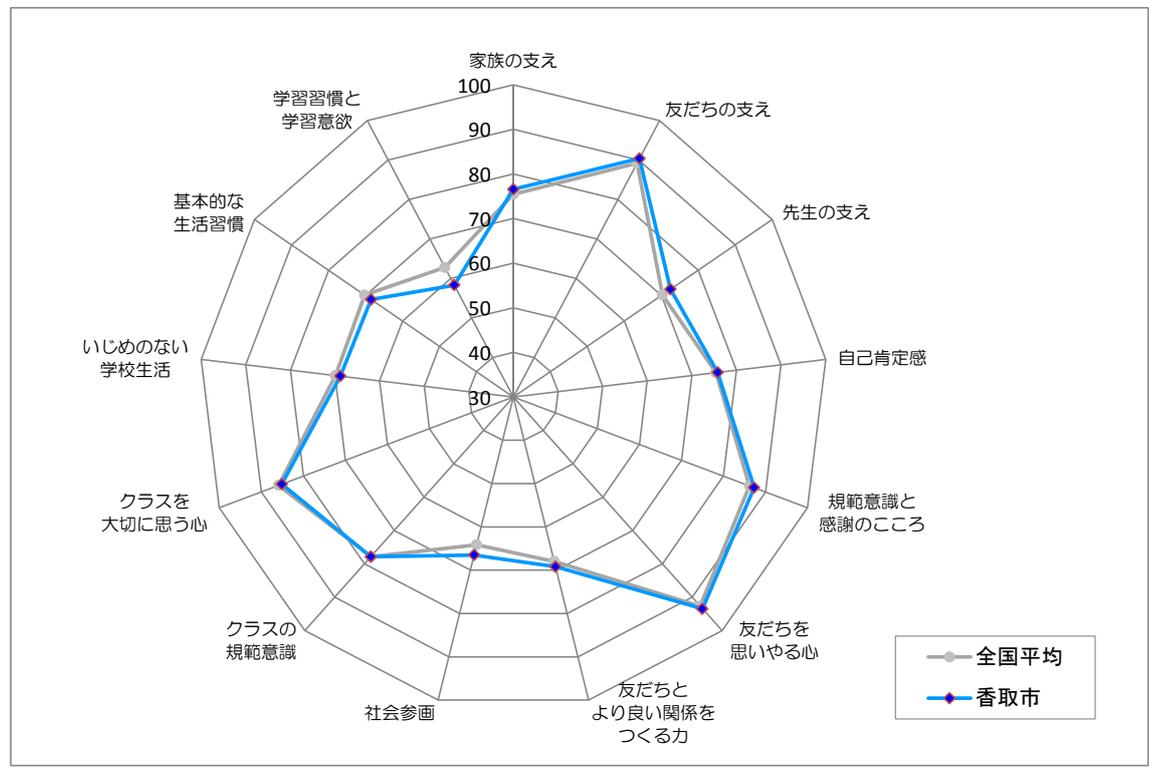
- ・こうした定型表現は、授業中のコミュニケーション活動の中で繰り返し使わせ、表現に慣れさせることと、日頃から書く機会を多く設けることが必要である。聞く、話すだけの指導に終始すると、全く書けない生徒が続出する可能性があるため注意したい。

# [意識調査]

**小学校** ※レーダーチャートの値は各項目の肯定率(肯定している+だいたい肯定している)を表しています。



## 中学校



- 小中学校共に全国値に極めて近い結果となっている。
- 小学校では社会性の項目のほとんど（「規範意識と感謝の心」「友だちを思いやる心」「社会参画」「クラスの規範意識」「クラスを大切に思う心」）が全国値を上回っている。
- 中学校では、「学習習慣と学習意欲」について、唯一全国値を下回っている。
- 全国的傾向として「家族との関係」「先生との関係」「自己肯定感」「生活習慣」「学習習慣」が、中学校で大きく落ち込むことに課題が見られる。